

=====

ESET Mobile Security V8.2 リリースノート (Build 8.2.8.0)

キャノンマーケティングジャパン株式会社

=====

■はじめに

キャノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Mobile Security（以後、本製品またはEMSと記載）
を正しく利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・インストールは、端末の [設定] ⇒ [セキュリティ] の「提供元不明のアプリ」を
チェックしてから行います。(Android 8/9/10/11/12/13 を除く)
- ・Android 8/9/10/11/12/13 の場合は、プログラムをダウンロードした
アプリケーション(Chrome を利用してダウンロードした場合は Chrome)の許可が
必要になります。

事前に許可がない場合、インストール開始時に設定を求められますので「この提供元のアプリを追加」をチェックしてインストールを続行します。

- ・画面ロックアプリなどの「他のアプリの UI：他のアプリの上に重ねて表示」権限を
他のアプリケーションが使用していると、「インストール」ボタンが押せません。
本製品をインストールする前には、このようなアプリの動作の停止、または「他の
アプリの UI」権限を持つ機能を無効にしてください。

□旧製品 (EMS v1) をご利用の場合

- ・本製品は、EMS v1 からの上書きインストールには対応していません。
本製品をインストールする前に、旧製品をアンインストールしてください。
旧製品の設定を引き継ぐことはできません。

旧製品（EMS v2.0～v8.0）をご利用の場合

- ・EMS v2.0～v8.0 をご利用の場合は、ダウンロードしたファイルを選択し、そのままインストールを行ってください。ライセンス情報や設定は、そのまま引き継がれます。ただし、EMS v3 以前からのバージョンアップに関して、バージョンアップ後に本製品のアクティベーションが外れる現象を確認しています。本現象を確認された場合は、お手数ですが再度アクティベーションしていただくようお願いいたします。また、v5.4 から Anti-Theft の再設計による仕様変更のため、Anti-Theft が有効な場合、バージョンアップ後にアクセス権の設定や PIN コードの追加設定などが必要になります。EMS の画面上に表示される警告通知に従い、設定を行ってください。
- ・EMS v8.0 以降は、Android 6.0 以降のみ対応しております。Android 5.1 以前をご利用の場合、バージョンアップできません。

■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

Android Go edition について

本製品において、Android Go edition はサポート対象外です。

インターネット接続環境について

本製品を使用するには、Android デバイスが直接インターネットに接続できる環境が必要です。

デュアル SIM、ルート化デバイス、マルチユーザー環境下での動作について

デュアル SIM、ルート化デバイスおよびマルチユーザー環境下での本製品の動作についてはサポート対象外です。

□リアルタイムファイルシステム保護の検出時のポップアップウィンドウについて

[ウイルス対策]-[詳細]-[リアルタイムファイルシステム保護]について、
「スクリーンオーバーレイ権限」を EMS に許可していない場合、ウイルス検出時に Android 画面上にウイルス検出のポップアップウィンドウが表示されません。
「スクリーンオーバーレイ権限」は Anti-Theft やフィッシング対策、アプリのロック、決裁保護を有効にする際に権限の許可を求められるため、EMS をご利用の前にいずれかの形で「スクリーンオーバーレイ権限」を許可することをお勧めします。

□SNS アプリのフィッシング対策機能の動作条件について

SNS アプリ（Facebook, Facebook Lite, Messenger, Messenger Lite, Instagram）のフィッシング対策機能について、現状の動作条件としては、
「サイトのドメインが ESET のブラックリストに含まれている」場合、
もしくは「title タグのない HTML ドキュメントである」場合に限定されます。

□Anti-Theft と通話フィルター機能の動作条件について

Anti-Theft と通話フィルター機能は、通話やメッセージングをサポートしないタブレットでは使用できません。

□インストール後、ライセンス情報入力前に、「通信が失敗しました：無効なデータが入力されました。」と表示される。

本製品は、インストール後の初回起動の際、端末の Google アカウント情報を、EMS ライセンスサーバーに照会に行きます。この際、Google アカウントが登録されていないと、このエラーが発生します。「スキップ」を選択して、アクティベーションを行うか、端末の Google アカウントを正しく登録してください。

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

□デバイス監査のアラート表示の問題

セキュリティ監査の[デバイス監査]-[メモリ]が有効に設定され、メモリ使用量が90%を超えてもアラートが表示されません。

さらに、セキュリティ監査の[デバイス監査]-[データローミング]や[デバイス監査]-[通話ローミング]が有効に設定され、端末側のローミング設定が有効でもアラートが表示されません。

□Android 6 において EMS 表記が英語になる

Android 6 において、EMS の画面全体に英語表記が入り混じる現象を確認しています。本現象は[設定]-[言語]を「日本語」や「システムの既定(端末の言語が日本語の場合)」に再度設定したり、端末を再起動したりすることにより改善されることを確認しています。

□通知保護の検出ポップアップを閉じても再び表示される事がある

フィッシング対策における「通知保護」によりフィッシングリンクが検出された際、ポップアップにて「通知を削除」を実行してもポップアップが再度表示される現象を確認しています。本現象は再度「通知を削除」を実行することにより改善されることを確認しています。

□Anti-Theft ポータルサイト上の端末紛失状態が端末側で解除できない

Anti-Theft ポータルサイトにおいて本製品をインストールした端末を「紛失状態」にした場合、端末側で ESET HOME パスワードやロック解除コードの入力によりロック状態を解除しても、Anti-Theft ポータルサイト上で紛失状態が解除されない現象を確認しています。

本現象は Anti-Theft ポータルサイト上において「紛失状態を解除」を実行することにより改善されることを確認しています。

□Anti-Theft ポータルサイト上の端末紛失状態における端末ステータス送信の問題

Anti-Theft ポータルサイトにおいて本製品をインストールした端末を「紛失状態」にした場合、端末の IP アドレスや写真、位置情報が Anti-Theft ポータル上で直ちに更新されない現象を確認しています。

本現象に遭遇した際は、お手数ですが

Anti-Theft ポータルサイトの端末設定において設定したスキャン間隔(10/20/30/60 分)に到達するまでお待ちください。

□Android 13 において Messenger アプリのフィッシング対策が機能しない

Android 13 において、フィッシング対策における「その他のアプリケーションの保護」を有効にしている場合でも、Messenger アプリ内でフィッシングサイトにアクセスした場合、検出画面が表示されない現象を確認しています。

□Android 10 において通話フィルターの発信ルールの一部が機能しない

Android 10 における通話フィルターの発信ルールについて、端末のアドレス帳に登録されている連絡先には「拒否」に関するルールが適用されない現象を確認しています。

■Anti-Theft 機能の注意事項

- ・ 本製品の Anti-Theft には、ワイプ（データの削除）機能や、端末のロックおよび勝手に写真を撮影したりサイレンを鳴らしたりする機能があります。これらの機能を不用意に実行しますと、端末のデータを失ったり、操作ができなくなったり、周囲より有らぬ誤解を招く恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ Anti-Theft を有効にする際は、端末を外に持ち出す前に、実際の動作を確認して頂きますよう、強くお勧めします。

■変更履歴

□EMS v2 からの変更点

- ・ウイルス対策
 - 「充電中に検査」に対応しました。充電中に満充電になると、検査が行われます。
 - ウイルス定義データベースの構造が見直され、1回の更新時におけるデータのダウンロード量が減少しました。
 - 検出したマルウェアの詳細情報が見られるようになりました。
 - 定義ファイル更新サーバーに、テスト用の公開前サーバーを指定できるようになりました。
- ・盗難対策（現在の機能名：Anti-Theft）
 - ポータルサイトの my.eset.com 経由でアンチセフト（現在の機能名：Anti-Theft）機能を実行できるようになりました。
ワイプ（データ削除）、位置検出、IP アドレス取得、サイレン（警報音）、写真撮影、メッセージ（端末画面にメッセージを表示）、パスワードリセットが利用できます。
 - my.eset.com 経由のアンチセフト（現在の機能名：Anti-Theft）は、SMS が利用できない端末でも利用可能です。
 - 画面ロック解除を複数回失敗する等の不審な動作を検出し、前もって端末をロックすることが可能になりました。
- ・その他
 - Android 5.0 に対応しました。

□EMS v3 (Build 3.0.1272) からの変更点

- ・Y!mobile/Softbank 回線での定義ファイル更新
 - Y!mobile/Softbank のモバイルネットワーク経由で、ウイルス定義ファイルの更新ができない問題を修正しました。
- ・Android 5.1 に対応しました。

□EMS v3.2 (Build 3.2.4.0) からの変更点

- ・Android 6.0 に対応しました。

□EMS v3.2 (Build 3.2.46.0) からの変更点

- ・ Android 6.0 で盗難対策（現在の機能名：Anti-Theft）のワイプが正常に実行できない問題を修正しました。

□EMS v3.3 (Build 3.3.27.0)からの変更点

- ・ Android 7.0 に対応しました。
- ・ アクティベーションするためのキーがユーザー名とパスワードから製品認証キーに変更されました。

□EMS v3.6 (Build 3.6.47.0)からの変更点

- ・ フィッシング対策機能が標準ブラウザ以外の多くのブラウザに対応しました。
- ・ セキュリティレポート機能が追加されました。
- ・ Android 8.0 に対応しました。

□EMS v3.9(Build 3.9.28.0)からの変更点

- ・ EMS の様々なログを表示するアクティビティログが追加されました。
- ・ Android OS がルート化された場合、セキュリティ監査機能でそれを警告できるようになりました。
- ・ 検出エンジンの自動的な更新間隔が3時間固定になりました。
- ・ Android 8.1 に対応しました。

□EMS v4.1(Build 4.1.20.0)からの変更点

- ・ アプリケーションの起動時に、認証を設ける「アプリのロック」機能が搭載されました。
- ・ GDPR (General Data Protection Regulation) に対応しました。
- ・ アクティビティログが手動で削除可能になりました。

□EMS v4.1(Build 4.1.35.0)からの変更点

- ・ 「アプリのロック」の機能が改善されました。
- ・ Android 9.0 に対応しました。

□EMS v4.3(Build 4.3.15.0)からの変更点

- ・設定のバックアップ、リストア機能が搭載されました。

□EMS v5.2(Build 5.2.45.0)からの変更点

- ・ホームネットワーク保護機能が搭載されました。
- ・「盗難対策」の名称が「Anti-Theft」に変更されました。
- ・Android 10に対応しました。(2020年1月20日に追加)
- ・Android 10 端末上では、SIM ガード機能がご利用いただけません。(2020年1月20日に追加)

□EMS v5.4(Build 5.4.8.0)からの変更点

- ・Anti-Theft の再設計により仕様の一部が変更されました。

□EMS v6.0(Build 6.0.29.0)からの変更点

- ・決済保護機能が搭載されました。

□EMS v6.1(Build 6.1.14.0)からの変更点

- ・Android 11に対応しました。
- ・スーターウェア保護通知が追加されました。

□EMS v6.2(Build 6.2.21.0)からの変更点

- ・フィッシング対策で「望ましくない可能性があるアプリケーションの検出」が可能になりました。

□EMS v6.3(Build 6.3.67.0)からの変更点

- ・Adware Detector が追加されました。
- ・myESET への接続が可能になりました。製品版の製品認証キーでアクティベーションされていない状態で myESET へ接続をすると、myESET に登録されている製品認証キーを選択し、アクティベーションが可能になりました。

- ・MyESET のアカウント作成時に、パスワードの最小文字数が 8 文字から 10 文字に変更になりました。
- ・バッテリーが意図せずに大量消費される問題を修正しました。
- ・ESET のアイコンが変更になりました。

□EMS v7.1(Build 7.1.13.0)からの変更点

- ・Android 12 に対応しました。
- ・「myESET」の名称が「ESET HOME」に、「ホームネットワーク保護」の名称が「ネットワーク検査」に、それぞれ変更されました。
- ・Android ホーム画面上のアイコン名が「Mobile Security」から「ESET Security」に変更されました。
- ・ESET HOME への接続方法として、Google アカウント、Apple ID、ESET HOME アプリからの QR コード読み取りがそれぞれ追加されました。
- ・「充電中に検査」の設定がデフォルトで OFF から ON に変更されました。
- ・アクティビティログのフィルターに「アプリのロック」が追加されました。

□EMS v7.3(Build 7.3.17.0)からの変更点

- ・Facebook/Facebook Lite/Messenger/Messenger Lite/Instagram の SNS アプリについて、フィッシング対策機能の提供が開始されました。
なお、本機能については動作条件がございます。詳細については本資料の
■使用上の注意事項について 項の
□SNS アプリのフィッシング対策機能の動作条件について
をご確認ください。
- ・初期セットアップ時のユーザーの同意画面にて、「マーケティング目的でのデータ使用を許可」の項目が追加されました。
- ・初期セットアップ時に ESET HOME への接続オプションが追加されました。これにより、ESET HOME アカウントに紐づくライセンスキーを使用して本製品をアクティベーションすることが可能です。(ライセンス条件を満たす必要があります。) また、本手順をスキップした場合でも、後からメニューの[ESET HOME アカウント]より接続が可能です。
- ・ダッシュボード画面内の各メニューの配置やアイコンのデザインが変更されました。各メニューの仕様に変更はありません。
- ・[設定]-[カスタマーエクスペリエンス改善プログラム]の設定が「ユーザーの同意」に変更されました。初期セットアップ時のユーザーの同意画面と同じく、「ESET

LiveGrid®を有効にする」「アナリティクスによる製品改善の支援を許可」、「マーケティング目的でのデータ使用を許可」の3項目について有効化・無効化が可能です。

□EMS v7.3(Build 7.3.20.0)からの変更点

- ・前バージョンからの変更点はありません。

□EMS v8.0(Build 8.0.30.0)からの変更点

- ・Android 13 に対応しました。
- ・フィッシング対策機能に「通知保護」と「SMS 保護」が追加されました。
- ・アクティビティログから検査の詳細を確認できるようになりました。

□EMS v8.2(Build 8.2.8.0)からの変更点

- ・前バージョンからの変更点はありません。

■製品情報

本製品に関する Q&A は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>